

特別展「隅田川～江戸が愛した風景～」展 連携公演

隅田の調べ

—江戸・明治、そして今—

2010年10月2日(土)

15:00開演 14:30開場 17:30 終演予定

東京都江戸東京博物館 ホール

全席指定 3,500円

※ 特別展「隅田川～江戸が愛した風景～」も観覧できます。

※ 展覧会には、会期中1人1回のみご覧いただけます。

※ 常設展には、別途観覧料がかかります。

第一部 江戸の調べ

1. 一中節「尾上の雲賤機帯」

おのえ くもしずはたおび
浄瑠璃 都了中
三味線 都一中

2. 長唄「四季の詠」

しき ながめ
唄 杵屋勝四郎 ほか
三味線 稀音家祐介 ほか
囃子 藤舎呂英 ほか

第二部 明治の音と隅田川

指揮 山田茂
ピアノ 斎木ユリ
合唱 東京混声合唱団

1. 組歌「四季」

作曲 瀧廉太郎 詞 武島羽衣ほか

2. 混声合唱組曲 すみだがわ

作曲 池辺晋一郎 詞 大倉芳郎

江戸東京博物館

伝統芸能フォーラム



問い合わせ・前売

●東京コンサーツ TEL.03-3226-9755(平日10:00～18:00)
FAX.03-3226-9882(24時間受付)

8月22日より、前売販売開始
お電話、あるいはFAXで予約・お申し込みいただき、郵送でのお受
取のほか、HP <http://www.tokyo-concerts.co.jp/> でご予約いた
だき、セブンイレブンの支払・受取もできます。

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
後援:読売新聞社
制作:東京コンサーツ

写真:鳥文斎栄之(隅田川舟遊び)(部分)
大判錦絵五枚続 江戸中期 江戸東京博物館所蔵

隅田川は、江戸の人々にとって、生活をささえる物資を運ぶ大動脈であるとともに、
うつろいゆく四季の風景を楽しむ名所として愛された川でした。

文明開化を経て、近代化の中で変貌を遂げていく首都の姿をみつめたこの川は、
今も豊かな水をたたえ、都市・東京の中心を流れています。

今回は、江戸から明治、そして現代まで、それぞれの時代に唄われた隅田川をご紹介します。
一中節、長唄、混声合唱と、趣の違う「隅田の調べ」を是非お楽しみください。

第一部

一中節

みやこりょうちゆう
都了中
浄瑠璃



父は十二世都一中。幼少の頃より、十一世都一中、父について一中節、常磐津節の手ほどきを受ける。その後、発声法や長唄の研鑽も積む。1997年、都了中の名を許される。一中節の若手浄瑠璃方として、舞踊や演奏会、放送等で活躍している。

みやこいちっちゆう
都一中
三味線



父・常磐津子之助に常磐津節の手ほどきを受け、のち、十一世都一中に一中節を師事。常磐津節と一中節をともに修める。1982年、都斎中の名を許される。1991年、十二世都一中を襲名。舞踊や演奏会での演奏のほか、レクチャーコンサートの開催等、意欲的な活動を繰り返している。

長唄

きねやかつしろう
杵屋勝四郎
唄



父・杵屋和四蔵に手ほどきを受け、のち杵屋勝国、東音宮田哲男に師事。1980年、杵屋崇光の名を許される。東京芸術大学卒業。歌舞伎では立唄を務め、そのほか舞踊、演奏会などでも活躍している。新作や舞台音楽等の作曲を手掛けることも多い。2007年、六世杵屋勝四郎を襲名。

きねやゆうすけ
稀音家祐介
三味線



稀音家六節治、八世稀音家三郎助に師事し、のち西垣勇蔵、菊岡裕晃にも師事。東京芸術大学卒業。1976年、稀音家祐介の名を許される。舞踊や演奏会での活動のほか、映画音楽を担当するなど、幅広く活躍している。また、近年では歌舞伎の立三味線としての出演も多い。国立音楽大学非常勤講師。

とうしゃろえい
藤舎呂英
囃子



祖父・望月天津市郎に手ほどきを受け、のち藤舎せい子に師事。東京芸術大学卒業。1989年、藤舎呂英の名を許される。舞踊や演奏会等での活躍のほか、新作の作調、他ジャンルとの共演等、多彩な演奏活動をみせている。有明教育芸術短期大学非常勤講師。

企画・制作協力 原田亮一(独立行政法人日本芸術文化振興会 国立劇場)

第二部

指揮

やまだ しげる
山田 茂



東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。栗林義信、畑中良輔の両氏に師事。在学中、小林道夫氏の指導の下、芸大バッハ・カンタークラブを結成、独唱、指揮に活躍。大学卒業と同時に1974年東京混声合唱団に入団、内外の多くの指揮者と共演、81年からバスパートリーダー、87年からコンサートマスターを務め、その間、読売日本交響楽団、東京室内歌劇場定期公演等で合唱指揮者を務める。2010年4月より東京混声合唱団副指揮者に就任。主著に「合唱名曲ガイド110 アカベラによる混声合唱」(音楽之友社)がある。

ピアノ

さいき
斎木ユリ



桐朋学園大学音楽学部卒業。室内楽、合唱などの共演者として多くの演奏会に出演、放送、録音に参加し、邦人作曲家の初演なども行っている。1995年、第6回日本国際音楽コンクール(ヴァイオリン部門)で最優秀伴奏者賞を受賞。2006年、第1回カサド国際チェロ・コンクールで原智恵子賞を受賞。最近ではオペラシアターこんにゃく座とも共演するなど、幅広く活動している。桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」講師、NHK東京児童合唱団客員ピアニスト。

合唱

とうきょうこんせいがっしょうだん
東京混声合唱団



1956年、東京芸術大学声楽科の卒業生により創設。コンサートの開催を演奏活動の中心に置き、広範な分野の合唱作品の開拓と普及に取り組んでいる。海外公演を含む年間200回の公演のほか、レコーディングやテレビ、ラジオへの出演がある。レパートリーは、創立以来行っている作曲委嘱活動で生まれた194曲を数える作品群をはじめ、内外の古典から現代作品までと全合唱分野を網羅している。文化庁芸術祭大賞、音楽之友社賞、毎日芸術賞、京都音楽賞、創立20周年企画「合唱音楽の領域」によるレコード・アカデミー賞などを受賞している。2007年、第38回サントリー音楽賞、第25回中島健蔵音楽賞を受賞。今年7月には、フィンランド公演を開催した。
<http://homepage3.nifty.com/TOUKON/>

この秋、江戸東京博物館では、隅田川の魅力をさまざまな角度からご紹介します。
絵で観る隅田川、話芸で堪能する隅田川…。
コンサートとともに、さまざまな隅田川の魅力をお楽しみください。

特別展「隅田川～江戸が愛した風景～」

栄之・広重・国貞…

当館の20年以上かけて収集した隅田川の絵画コレクションを一挙に公開します。

9月22日(水)～11月14日(日)

会場：江戸東京博物館 1階 企画展示室

休館日：月曜日 ただし10月11日(月・祝)は開館、12日(火)は休館

開館時間：午前9時30分～午後5時30分(土曜は午後7時30分まで)※入場は閉館の30分前まで。

観覧料：特別展専用券(一般) 1,100円 ほか 詳細はHPで。

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社

協賛：光村印刷、キャンソマーケティングジャパン

特別展関連事業

「柳家さん喬、古今亭志ん輔両師匠が落語で語る隅田川」

10月11日(月・祝) 柳家さん喬「隅田川ひととせの四季(よいろ)」

10月24日(日) 古今亭志ん輔「隅田川(おおかわ)の流れゆかしき」

時間：午後1時開場 午後1時30分開演

会場：江戸東京博物館 1階 ホール

料金：全席指定 4,500円

※特別展「隅田川～江戸が愛した風景～」も観覧できます。

※展覧会には、会期中1人1回のみご覧いただけます。

※常設展には、別途観覧料がかかります。

チケット販売：江戸東京博物館1階ミュージアムショップ、チケットぴあ、ローソンチケット

※詳細は下記までお問い合わせください。

主催：読売新聞社

チケット・公演内容に関するお問い合わせ：読売新聞社東京本社 落語事務局 03-5159-5886

お問い合わせ

江戸東京博物館

〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1

TEL: 03-3626-9974(代表)

<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

JR総武線 両国駅西口徒歩3分、都営大江戸線両国駅 A4出口徒歩1分、
都バス錦27・両28・門33・墨38系統、夢の下町観光路線バス「都営両国駅前」徒歩3分

